

花王グループが、技術イノベーション説明会を実施 自然な積層型極薄膜を肌表面につくる 「Fine Fiber（ファインファイバー）技術」など5つの新技術を発表



花王株式会社は、11月27日に、「花王グループ・技術イノベーション説明会」を実施しました。

説明会では、昨今の社会課題を解決するために、花王自らがこれまでの研究資産を深耕するだけでなく産官学などとも連携・協働し、未来の社会に貢献していくことを強調しました。また当日は、花王が注力する研究領域から、特に「皮膚」「健康」「毛髪」「界面」「環境」の5つの領域における新技術を発表しました。中でも、極細繊維による積層型極薄膜を肌表面に形成する「Fine Fiber（ファインファイバー）」技術は、デモンストレーションを実施。来場された方々に、専用のデバイスから噴き出る直径サブミクロンの極細繊維が、肌の上に、軽く、柔らかく、自然な極薄膜をつくる様子を体験していただきました。

花王は、「Fine Fiber（ファインファイバー）」技術と化粧品製剤を組み合わせることで、スキンケアやメイクなどの領域で、これまでの常識を超える新たな提案をめざしていきます。

■当日の様様

はじめに、花王株式会社 代表取締役 社長執行役員 澤田 道隆が「今後の花王グループを支える技術イノベーション」と題して、花王グループの未来の可能性、花王がこだわる「本質研究」、さらには、5つの領域でイノベーションを推進していくことについて説明しました。「ニーズの多様化、エンカル志向の高まり、個性を重視する傾向など、昨今の消費者が求める価値は変化しており、これまでの研究資産の活用に関して、大きく方針転換をしていく必要があると感じています。これからは、メーカーの自前主義だけでは限界があり、多面的な連携が必要になってきます。ひとつの技術に対して様々な出口を、みんなで考えていくこと。それが、今回の説明会のひとつの目的です。現在、花王が取り組んでいる基礎研究は50以上あります。本日はその中の選りすぐりの5つを紹介しますが、どれも来年中には商品やサービスへの展開を目指してい



花王株式会社 代表取締役 社長執行役員
澤田 道隆

ます。この説明会を通して、皆様と未来の方向性を共有したいと思っています。どうぞ、花王の技術力の高さを実感してください」と語りました。

続いて花王の研究部門統括である花王株式会社 取締役 専務執行役員 長谷部 佳宏が登壇し、重要研究領域における5つの技術についてプレゼンテーションを行いました。



花王株式会社 取締役 専務執行役員
長谷部 佳宏

5つの技術のうち、Fine Fiber 技術のプレゼンテーションの中では、「人工皮膚は花王でも長年研究をしてきましたが、通気性、通湿性などの課題を乗り越えることが難しい状況でした。しかし、その答えはおむつなどで使われている不織布の中にありました。Fine Fiber は単なるフィルムではありません。直径がサブミクロンの糸状の極細繊維を拡散しながら直接肌に吹き付けることで、軽く、柔らかく、自然な極薄膜を肌表面に作る“見えない・感じない・剥がれない”人造皮膚です。端面（ふち）がなく、凹凸に追随し、皮膚を模倣します。端面がないことで、境界が見えず、肌と一体化できるのです。また、サブミクロン繊維が持つ“毛管力”は、繊維

の間に化粧品の製剤をしっかりと保持して離しません。さらに、折り重なった繊維の隙間から水蒸気を通すので、肌を完全に閉塞することなく適度な透湿性も保てます。この Fine Fiber は、長年の課題であった、化粧品製剤の肌表面での持続性や均一性に飛躍的な進歩をもたらします。将来的には、化粧品の領域だけでなく治療領域への応用も視野に入れ、研究を深耕していきます」と Fine Fiber 技術の将来性を示唆しました。

また当日は、Fine Fiber 技術のほかにも、「RNA Monitoring」「Created Color」「Bio IOS」「Package RecyCreation」についても、その詳細を説明しました。

■デモンストレーションブースで、Fine Fiber技術を体験

会場では、Fine Fiber技術を体験できるデモンストレーションブースを設置しました。実際に体験された方からは「透明で、境目もなく、つけていることが本当にわからないですね」「つけたところを動かしても、違和感がないです」など、驚きの声があがりました。



デモンストレーションの様子



本日の説明会でご紹介したFine Fiber技術の動画をYouTube「花王動画チャンネル」で公開しております。

花王：Fine Fiber 技術 <http://youtube.com/watch?v=q0sstO4v4T0>